

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年5月13日(2024.5.13)

【公開番号】特開2024-51061(P2024-51061A)

【公開日】令和6年4月10日(2024.4.10)

【年通号数】公開公報(特許)2024-066

【出願番号】特願2024-27051(P2024-27051)

【国際特許分類】

A 01N 25/06 (2006.01)

10

A 01P 17/00 (2006.01)

A 01N 53/08 (2006.01)

A 01M 29/12 (2011.01)

A 01M 7/00 (2006.01)

【F I】

A 01N 25/06

A 01P 17/00

A 01N 53/08 110

A 01M 29/12

A 01M 7/00 S

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月1日(2024.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

匍匐害虫の忌避成分を含む原液と噴射剤とを含むエアゾール組成物が充填されたエアゾール容器と、前記エアゾール容器に取り付けられた定量噴射用エアゾールバルブと、前記エアゾールバルブを介して前記エアゾール容器に取り付けられる噴射部材とを備え、前記噴射部材には、エアゾール組成物を噴射するための噴口が形成され、前記噴口の直径が、0.2~4.5mmである定量噴射型エアゾール製品から、前記エアゾール組成物を、下方に向けて噴射する、匍匐害虫の忌避方法。

【請求項2】

1回あたりの噴射量が0.2~1.0mLであり、処理容量が、1畳当たり、0.2~1.0mLとなるよう噴射する、請求項1記載の匍匐害虫の忌避方法。

【請求項3】

噴射された前記エアゾール組成物の平均粒子径(D50)が15~95μmとなるよう噴射する、請求項1または2記載の匍匐害虫の忌避方法。

【請求項4】

前記忌避成分は、ピレスロイド系化合物であり、前記匍匐害虫は、ダニである、請求項1~3のいずれか1項に記載の匍匐害虫の忌避方法。

30

40

50